

市議会だより



大室山

発行 伊東市議会 議長 久保谷 敏司
編集 議会報編集委員会
伊東市議会事務局
電話32-1981(直通)FAX38-6916

① 保健委員



地域に健康意識の輪を広げるための活動をしています!!

② 伊東市健康づくり食生活推進協議会（エプロンハッスル会）



伝えよう！安全・安心・バランスの良い食生活
～家族で囲もう笑顔の食卓～

③ 伊東自然歴史案内人



伊東のよいところを紹介する、伊東温泉のみなもとです!!

④ 伊東市消防団



地域の安全・安心を守ります!!

伊東市を支える協働の

力

表紙は「いとう」の文字に大室山・小室山を配し、図案化したものです。
つばきは伊東市の花木で、昭和42年8月10日、市制施行20周年を記念し、市民から公募して制定されました。

小室山

主な内容

- 12月定例会の概要……………【P.2】
- 一般質問（12議員が登壇）……………【P.4】
- 常任委員会だより……………【P.11】
- 特別委員会中間報告……………【P.12】

活動団体の問い合わせは

- ① 保健委員
伊東市子育て健康課 → 32-1583
- ② 伊東市健康づくり食生活推進協議会（エプロンハッスル会）
伊東市子育て健康課 → 32-1583
- ③ 伊東自然歴史案内人
観光番 → 37-3550
- ④ 伊東市消防団
伊東市消防総務課 → 38-0197

平成21年12月定例会

19件の議案等を審議、決定

12月定例会を11月27日から12月16日までの20日間の会期で開会しました。

■市議会12月定例会で審議した議案等

議案番号	件 名	概 要	提出者	審議結果
市議第23号	伊東市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	国家公務員に対する人事院勧告に伴う、特別職の期末手当の改定、一般職の住居手当並びに期末手当及び勤勉手当の改定に伴う条例改正	市長	全会一致で可決
市議第24号	伊東市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例		市長	賛成多数で可決
市議第25号	伊東市重度障害者デイサービスセンターひだまり条例の一部を改正する条例	平成18年4月1日からの障害者自立支援法の施行に伴い、障害福祉サービス事業の設備及び運営に関する基準が定められ、複合施設としての適用を受けていた碧の園がケアホームを増設するため、新法である障害者自立支援法の適用を受けることとなり、ひだまりの定員を新法の基準である15人から20人に改正する	市長	全会一致で可決
市議第26号	伊東市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例	消防法の一部改正に伴い、引用条項を整理するための改正	市長	全会一致で可決
市議第27号	市立伊東市民病院の指定管理者の指定について	特例により、地域医療振興協会を対象として、指定管理者の指定を行う	市長	全会一致で可決
市議第28号	静岡地方税滞納整理機構規約の変更について	広域連合の処理する事務について、税務研修事務及び軽自動車税並びに自動車取得税に係る申告または報告書の審査、受付などに係る事務を追加するものであり、これらの事務に係る経費の負担区分について追加する規約の変更を行う	市長	全会一致で可決
市議第29号	平成21年度伊東市一般会計補正予算（第5号）	県の要請に基づく緊急雇用創出事業経費の追加、自立支援給付費の追加、保育園等の臨時職員賃金の追加、生活保護扶助費の増額、新型インフルエンザの予防接種委託料の追加、国民健康保険事業、介護保険事業、後期高齢者医療の3特別会計に対する繰出金の追加、人事院勧告に伴う期末勤勉手当の減額を初めとする人件費の整理、勧奨退職者増加等に伴う退職手当の増額など、7億5,636万円を追加する	市長	全会一致で可決
市議第30号	平成21年度伊東市下水道事業特別会計補正予算（第1号）	湯川終末処理場の汚泥脱水ケーキ圧送ポンプ押込機の緊急修繕工事費の増額、人件費の整理など、30万1,000円を追加する	市長	全会一致で可決
市議第31号	平成21年度伊東市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	一般被保険者高額療養費の追加、後期高齢者支援金の減額や人件費の整理など829万8,000円を追加する	市長	全会一致で可決
市議第32号	平成21年度伊東市介護保険事業特別会計補正予算（第2号）	介護保険給付費の増額、人件費の整理など7億5,438万2,000円を追加する	市長	全会一致で可決
市議第33号	平成21年度伊東市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	給付費負担金額の決定による増額、人件費の整理など4,351万4,000円を追加する	市長	全会一致で可決

市 議 会 だ よ り

議案番号	件 名	概 要	提出者	審議結果
市議第34号	平成21年度伊東市水道事業会計補正予算（第1号）	鉛管等取替業務委託経費の追加、漏水調査業務委託料の減額などにより、収益的支出297万7,000円の減額 資本的収入1,325万1,000円の追加、県道中大見八幡野線の配水管の敷設、富戸松尾地内配水管の改良工事費などにより、資本的支出に1,936万4,000円を追加する	市長	全会一致で可決
市議第35号	平成21年度伊東市一般会計補正予算（第6号）	1歳から中学校3年生までの幼児、児童、生徒に対する新型インフルエンザ予防接種公費負担を行うため、5,043万円を追加する	市長	全会一致で可決
市選第3号	固定資産評価審査委員会委員選任の同意について	鬼頭幸一氏（広野）再任	市長	全会一致で選任に同意
市諮第2号	人権擁護委員候補者の推薦について	安井宏之氏（芝町）再任	市長	全会一致で推薦
発議第6号	伊東市議会議員の期末手当の支給の特例に関する条例	平成21年12月及び平成22年6月に支給する期末手当の減額に関する条例	議員 17名	賛成多数で可決
発議第7号	伊東市議会議員等の報酬及び期末手当の支給並びに費用弁償条例の一部を改正する条例	平成21年12月以降に支給する期末手当を減額するための改正条例	議員 3名	賛成少数で否決
発議第8号	前正副議長に感謝状の贈呈について	第66代伊東市議会議長 楠田一男議員、第61代伊東市議会副議長 宮崎雅薫議員に対する感謝状の贈呈	議員 6名	全会一致で可決
発選第12号	農業委員会委員補欠推薦について	浅田良弘議員、西島彰議員、楠田一男議員、稲葉富士憲議員を推薦	議員 6名	全会一致で推薦

本会議で
行った討論
(概要)

■伊東市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正条例

《反対》日本共産党

本条例改正は、本年八月の人事院勧告に端を発し、住居手当の新築加算廃止や、期末勤勉手当の〇・三五月削減により、金額にすると、平均一三万円も減額されるものである。

市政を、車の両輪として担う役割を持つ職員や議員が、その収入での生活の維持が困難では、よい仕事ができず、仕事への士気を減退させる。

大企業が内部留保を労働者と社会に還元し、安定雇用や賃上げを行うことが、内需拡大を進め、ひいては、市財政を潤す道であり、デフレスパイラルから脱却することを願って反対する。

■市立伊東市民病院の指定管理者の指定について

《賛成》日本共産党

市に直営病院のノウハウ

があれば、直営で実施することで、市民に責任が持てるがそれは難しい。また、準備期間のないまま公募する困難さもある。

今回の指定は三〇年間で、悩むが、病院医師との協議の場や、指定取り消し規定を設けたことは評価する。

医療及び看護水準に関する課題などに対して、今後真摯に対処していただきながら、その努力や功績を市民と共有し合える病院であるとともに、新病院が市民や地域の医療機関から信頼され、地域に根づく病院となれるよう一層努力されることを期待し、賛成する。

《賛成》正風・興志会

地域医療振興協会は、平成一三年から市立伊東市民病院の管理運営を担っており、診療科目の充実や二次救急医療の創設などにより、地域医療の向上に寄与してきた実績は評価すべきである。

また、新病院を運営するために必要な六五人の医師をそろえることができる団

体はほかにはなく、先行き不透明な医療環境下において、三〇年間という期間にわたり、安定した地域医療を確保できることは、本市にとって大きなメリットであり、地域医療振興協会を指定する本議案に賛成する。

《賛成》民主党・刷新の会

現状から判断すると、地域医療振興協会を指定する必要性は理解できるものの、社会情勢が目まぐるしく変化する中で、三〇年もの長きにわたり、伊東市民の生命を託すことには、多くの心配や不安がある。

デフレ傾向にある世界情勢の中で、将来を見通すことは非常に難しく、また、少子高齢化が進行する中で、財政面も含む問題点を心配しなくてはならない。

伊東市にとって、新病院建設は大きな事業であり、慎重な審議があつてしかるべきである。指定期間開始までには、一年以上の期間があるため、さらなる検討を重ねるよう申し上げ、賛成の討論とする。

一 般 質 問

12人の議員が登壇／市政全般について質問

(登壇順に掲載)

小一プロブレム・中一ギャップに関する本市の対応



民主党・刷新の会
竹田昭直 議員

東京都教育委員会では、小学一年生が学校での集団化になじめず問題を起こす、小一プロブレムに対応したカリキュラム等の実施に関する調査を、教職課程のある都内の大学を対象に実施することが報道された。本市での発生日例はないようであるが、今後の対応について伺う。

また、小学校とは異質の雰囲気になじめずに不登校等となり、将来に大きな影響を与えることとなる中一ギャップに関し、本市の対応について伺う。

このような現象が起きないよう、指導とともに研究課題として取り組んでいる

教育長

小学校に入学後、落ち着いて学習ができるような時期になっても、学習に集中できない小一プロブレム、中学校入学後の環境の変化等へのとまどいから、学校不適応等となってしまう中一ギャップ、これらは、今日的な課題であり、本市でも、いつ起きてもおかしくない認識している。

本市の小・中学校では、「子どもたちに親身にかかわること」を合い言葉に、一年生に限らず、すべての学年で、このような現象が起きないよう指導をするとともに、研究課題として取り組んでいる。

「その他の質問事項」

■ 新型インフルエンザ対策について

■ 国庫支出金の凍結等に伴う本市への影響について

■ 本年度新たに実施された補助金の利用状況、また、元気ある地域づくり応援事業の取り組みについて

■ 教育行政について

・ 平成二一年度教育基本

方針の進捗状況

・ 「子どもたちの学びへの支援の充実」について

・ 保育所持機児童対策
・ さくら保育園の運営
・ 幼保一元化の取り組み



元気に遊ぶ小学生たち

大室山の文化財国指定に係る現在の状況について



正風・興志会
西島 彰 議員

美しいしずおか景観推進協議会が主催する第二回静岡県景観賞において、「大室山」が優秀賞を受賞した。

約四〇〇年前の噴火で

形成されたスコリア丘「大室山」は、景観の美しさとともに、希少性と地学的価値とをあわせ持った伊東のランドマークとして誇るべき地球からの贈り物である。大室山が国の天然記念物として指定されたならば、伊豆半島ジオパーク構想の中心に位置づけられる価値を持つことは明白である。そこで、現在までの進捗状況と、大室山国指定についての考えを伺う。

平成二二年度の国指定を目指し調整している

市長

大室山は、東伊豆単性火山群の活動によって形成されたスコリア丘であり、当時のままの状態が残っている例はほとんどなく、非常に価値が高いとして、平成十八年三月、国指定の天然記念物に指定することについて、文化庁から打診があった。その後、国、県、市、池総有財産管理会との間で協議を重ね、同管理会において指定申請書提出に同意



大室山

が得られたことから、平成二二年度の国指定を目指して日程調整を行っている。大室山が国指定となると、日本初のスコリア丘指定となる。

『その他の質問項目』

■本市の産業振興にかかわる経済活性化施策について

・個店魅力アップ支援事業について

・店舗リフォーム振興補助事業について

・元気ある商店街づくり応援補助事業について

・伊東温泉湯めくーポン発行事業について

■市道松原・鎌田線（猪戸通り）の道路改修について

■赤坂・逆川間の歩道への防犯灯の設置について

観光産業における伊豆ブランド確保のため、伊豆観光圏の創設について伺う



清峰クラブ
佐々木 清議員

昨年一〇月に発足した観光庁は、外国人旅行者の受け入れなどを地域として取り組み、滞在型観光エリアを整備したいとの趣旨で、「観光整備事業」を始め、全国三〇の地域が認定を受けているが、伊豆地域からはいまだ認定されていない。伊豆の観光は、観光産業のトップブランドとして長年君臨してきたが、静岡県観光協会副会長の立場にある市長の「伊豆観光圏」に対する考え方を伺う。

制度が変わる中、観光圏の整備に向け、関係機関と調整を図り準備を進めていく

市長

伊豆地域の観光圏について

では、本年七月八日に修善寺で、県主催の伊豆地域の観光圏整備実現に向けたトップセミナーが開催され、観光圏制度の概要と浜名湖観光圏の説明が行われた。

七月一七日には伊豆観光推進協議会の幹事会の中で協議しており、観光庁の平成二二年度予算概算要求の発表を受け、日ごろ連携して観光誘客宣伝を実施している伊豆急行線沿線の本市、下田市、東伊豆町、河津町及び南伊豆町の二市三町による観光圏の結成に係る協議を行い、観光の活性化を図るため、県と中部運輸局の協力を受ける中、今年度中の認定に向け準備を進めているところである。

なお、先日、伊豆地域の観光活性化を図るため、国土交通省観光庁長官にお会いし、伊豆地域の観光圏の実現に向けて意見交換をしてきたところである。

国の制度が変わる中、今後、観光圏の整備に向け、関係機関と調整を図りながら進めてまいりたいと考えている。

ている。

■伊東市の行政運営における広域行政に対する取り組みについて

■第四次伊東市総合計画策定に対する市長の基本方針について



『伊豆観光圏』の創設が求められる

観光行政を執行する上で、現在の担当部局のあり方に整合性がとれているのか



民主党・刷新の会
四宮和彦議員

スポーツ振興、文化・歴史・自然遺産の保存、整備等、観光政策において観光資源を扱う場合、例として、東海館やオレンジビーチマラソンの運営などが挙げら

れ、観光経済部はもちろん、建設部、教育委員会等の部課横断的な要素が多いが、事業を進める上で縦割り行政の弊害を懸念する。

観光施設は、単なる娯楽施設だけでなく、文化・教育施設を包摂する広い概念で扱われるものであり、「文化観光課」や「スポーツ観光課」といった部署の設置が必要と考えるが、現在の担当部局のあり方について整合性がとれているのか。

各部課で情報を共有し、連携を密にして事業に対応しており、問題はない

市長

多種多様な行政需要に対し、最小の経費で最大の効果を上げ、簡素で効率的な行政運営を進めていくため、平成二〇年四月一月に現在の組織・機構に改めた。

また、私を頂上に、迅速な報告、連絡、相談の日常化を徹底し、各部・課が情報を共有する中で、連携を密にして事業に対応しており、縦割り行政の弊害はな



スポーツ振興と誘客の連携

ないと考えている。

『その他の質問項目』

■「スポーツ観光」「文化観光」を核とする誘客事業の推進に対する市長の見解について

今後、本市の将来像、総合計画等の事業検証は、観光ガイドの養成に積極的に取り組むべきでは

・ジオパーク構想等に係る本市の役割・経済効果は

・情報発信による誘客効果等について

■分譲地問題の解決に向けた市長の見解について

・分譲地数等の現状・諸問題の把握は

・分譲地内の道路等の公有化を推進すべきでは

・問題解決に向けた組織づくりを誘導すべきでは

地質遺産を活用した「ジオパーク」構想に係る取り組みについて



公明党
楠田一男議員

科学的に貴重な地質や地形を持った自然公園「ジオパーク」が伊豆の観光振興策として注目されている。ジオパークは、ユネスコが支援し設立された世界ジオパークネットワークが認定するものであり、保護が主目的の世界遺産と異なり、教育や研究、観光面での活用も重視されている。

ジオパークに認定された地域は、今後、地域資源としての活用方法が問われることとなるが、伊豆地域として、どのように取り組むべきと考えるか伺う。

伊豆全体の取り組みとして推進していく

市長

伊豆半島の豊富な温泉や景勝などの自然環境は、火山の恵みに負うところが多く、この豊富な自然資源を効果的に組み合わせることにより、ジオパークの認定を受けることが可能となり、新たな観光資源としての活用が考えられる。

静岡県においては、ジオパーク構想を伊豆半島全域において展開することとされており、県や伊豆観光推進協議会と連携を図り、この構想を伊豆全体の取り組みとして推進していきたいと考えている。

『その他の質問項目』

■LED照明に対する関心が高まっているが、本市の取り組みについて

■介護問題の改善、充実に向けた取り組みについて

・介護施設への入所待ちが多い現状から、本市の状況と対策について

・介護施設の人手不足等が喫緊の課題となつて

いるが、本市の状況と対策について

■保育に対する取り組みに

ついで

・地方公共団体版アクションプログラム

・看護職等の専門職員確保に係る対応



ジオパーク構想としても重視される城ヶ崎海岸

市民も含めた「誘客応援団」を立ち上げ、誘客ハガキなどの活動をしたらどうか



日本共産党
重岡秀子議員

伊東への来遊客は、首都圏からの方が圧倒的に多く、四回以上のリピーターが最も多いとの報告もあり、本市の観光は、まだまだ大きな可能性を秘めている。

そこで、市民の力もあり、市の主導によりまち全体で誘客宣伝に取り組み組織を立ち上げていただくとともに、市民が市外の知人にハガキを出し、それを持つて宿泊した観光客、差出人とともにメリットがある、プレミアムつき誘客ハガキによる宣伝を提案する。

こうした活動は、観光への市民の協力的意識の向上につながり、おもてなしの心が浸透し、観光客に優しいまちづくりに寄与するとともに、観光業者を励まし、サービスの向上などにもつながると考えるが、いかがかと

市長

本市は、観光を基幹産業としており、市、団体、民間が協力して誘客に取り組んでいるが、市民こそ伊東温泉をアピールするためには、観光関連団体や市民に、積極的に事業に参画していただき、みずから

観光大使となり、本市をアピールすることが大切であると認識している。

今後、市民総参画の視点に立ち、市民がおもてなしの心を持ち、観光客を受け入れることができるよう啓発活動を進めていくとともに、市民の方々が本市の観光資源を体験し、市外へアピールできる体制づくりなどを検討していきたい。

『その他の質問項目』

■敬老行事の検証と今後の方向性について

■修学旅行時など、養護教諭が不在のとき、市として臨時看護師を派遣すべきではないか



伊東観光番

「キャリア教育」推進に係る取り組み状況等を伺う



民主党・刷新の会
浅田良弘 議員

就職・就業をめぐる環境の変化等による若年層におけるニートや大人になることを否定するモラトリアム世代など、社会人としての資質や素養に課題が見受けられるケースが増加の傾向にある。

「キャリア教育」は、望ましい職業観や勤労観、また、職業に係る知識や技術の習得とともに、自己の個性を理解し、主体的に進路を選択する能力、態度を育てるための教育であり、県内でも、文科省の促進する、五日間以上の職場体験を行う「キャリアスタートウィーク」推進事業が実施されている。

本市においても、小学校の段階からの「キャリア教

育」の必要性が十分にあると考えるが、本市の取り組みの状況等を伺う。

各小・中学校において、総合的、かつ工夫した取り組みを実施している

教育長

本市の「キャリア教育」

は、小学校においては、生活科や総合的な学習の時間、道徳、特別活動などを通して行われており、中学校においては、進路学習を各学年において計画的に進め、職業体験や福祉ボランティアなどの体験学習を通して職業観の形成を図っているところである。

また、職業に関して支援を行うキャリアカウンセリング、社会で活躍している方や高校の教員による講演会の実施など、工夫した取り組みも多く行っている。

『その他の質問項目』

■青少年の就労支援及び自立支援に伴う雇用対策について

■給食における食物アレルギー対応及び中学校給食

実現とアレルギー疾患との因果関係について

■鎌田区から要望された、競輪選手宿舎の未使用時の有効利用について



職場体験学習

本市の下水道計画及び水質汚濁防止対策について伺う



輝21
稲葉富士憲 議員

下水道事業が水質汚濁防止に果たした役割は大きく、現在の松川は、清流と呼ぶにふさわしい、本市を象徴する存在となった。しかしながら、一方、南

部地域においては、下水道計画が立ち消え、計画地域であっても、長年整備されないままの地域もある。

下水道が整備されていない吉田、川奈地域においては、新築の際に合併浄化槽の設置が義務づけられているが、下水道整備に伴い接続の義務が生じることから、設置した合併浄化槽は不要となり、大きな無駄となる。

そこで、下水道計画の対象地域内の計画未実施地域における供用見込み、公共下水道認可区域内における合併浄化槽の設置に係る補助金支給の可能性を伺う。

また、八幡野川、対島川には家庭の雑排水が流れ込み、海が汚染されている。改善には合併浄化槽への切りかえを進めていく必要があるが、その状況を伺う。

計画面積の見直しを含めて検討するとともに、合併浄化槽の設置を推進していく

市長

今後の面整備は、費用対効果を勘案し、実施してい



対島川

くが、平成二三年度末で終了する現認可計画は、計画どおり進めることが困難な状況であり、計画面積の見直しを含め、検討していく。

また、認可区域内の未整備地区については、現状、合併浄化槽補助制度は利用できないこととなっている。

さらに、下水道計画の対象地域ではない地域の合併浄化槽の設置状況について、循環型社会形成推進交付金による個人設置型合併浄化槽事業の実績は四九〇戸であり、今後も同制度を活用し、事業の推進を図る。

『その他の質問項目』

■シカ、イノシシ、猿、リスなどによる農林業への被害及び対策等

■消防広域化に係るメリット、デメリット等

スポーツ施設の整備計画、競技力向上の取り組みについて伺う



清峰クラブ
榎本元彦議員

本市は、一人一スポーツを掲げ、さまざまなスポーツが盛んに行われているが、施設整備に関するおくれがあると考える。

市民運動場に関しては、夜間照明も整っており、サッカーを初め利用者は多いが、砂ぼこりに対する近隣住民からの苦情もあり、かどの球場についても、人工芝の傷みが著しく、けがを懸念する声もあることから、既存スポーツ施設の整備計画について伺う。

また、各種スポーツ競技力向上に向けた取り組みについて伺う。

スポーツ施設整備を行い、競技力向上に取り組んでいきたい。

市長

スポーツ施設の今年度の整備に関しては、市民運動場では、公衆トイレの改築を行っており、今後は、土ぼこりの飛散防止策に関する検討を予定しており、かどの球場は、防球ネットの修繕工事を実施し、今後は、痛みの激しい部分の人工芝の改修などを行う。

優れた素質を有する少年・少女に対し、体育協会やスポーツ少年団と連携を図りながら、個人の特性や発達段階に応じ、一貫した指導を行い、競技力向上に取り組んでいきたい。

『その他の質問項目』

■市内建設関連業者に対する経済活性化対策について伺う

■祭典、防災訓練、運動会、清掃等の奉仕活動など、地域の行事に積極的に子供たちを参加させるべきと考えるが、各学校ではどのように子供たちが地域とかかわっているか伺う

■市立伊東図書館について、

供覧スペースや駐車場等の利用に係る現状と、今後の整備に向けた考えについて伺う。



人工芝の改修が望まれる

シカ、イノシシ、タイワンリス等による農作物被害への今後の対策について伺う



日本共産党
大島春之議員

伊豆地区六市六町における野生動物による農作物への被害は二億円を超え、本市においては、一一九九万円と報告されている。

平成一九年度に宇佐美、十

足地区の一部に防獣さくを設置したが、さらに被害防止施策を実施していくべきと考えるが、「被害防止計画」は策定されているのか。

鳥獣保護、野生動物の適正数の保持には、捕獲が必要である。他市ではシカなどは、処理場を設け、食料利用への模索が始まったと聞いている。

また、縄張りを持つ野生動物は、伊豆地区全体を網羅して考えないと真の対策とはなり得ない。幸い、「伊豆地域有害鳥獣被害対策連絡会」が設立され、狩猟期間の延長等、県に要望書を提出しているが、さらに、鳥獣被害対策実施隊を養成することなどを要求していくべきと考えるがいかがか。

被害防止計画を作成し、有害鳥獣対策を行っていく

市長

平成二〇年二月、「鳥獣による農林水産業等に係る被害の防止のための特別措置に関する法律」が施行され、



野生動物による被害が増加している

■国民文化祭の成果と経験の活用について

■県景観優秀賞を受賞した大室山のふもとにある、市制五〇周年の際にキリを植樹した広場に再度植樹してはどうか。

この計画が承認された後には、国からの財政上の支援等により、効果的かつ円滑な対策が講じられることから、あいら伊豆農業協同組合と連携し、鳥獣進入防止さくの設置など有害鳥獣対策を行っていきたい。

鳥獣被害防止策を総合的かつ効果的に実施できるよう、国が基本方針を定めたことに伴い、本市においても、被害防止計画を作成し、県との協議を行っている。



輝21 稲葉正仁 議員

観光立市として、第一次産業と連携した対策が有効であると考えるが、本市における緊急的・長期的経済対策、雇用対策について伺う

伊東市は海と太陽のまぶしいリゾート地であり、別府、熱海とともに日本三大温泉の一つに数えられ、全国でも豊富な湧出量を誇る湯の街であるが、時代の流れとともに、地の利に甘えるだけの観光産業は成り立たなくなってきた。平たん地の少ない伊東市にとつては、都市部と農村部の「人、物、情報」を活性化させ、地域間交流と雇用対策を図ることで、農業者以外の方々にも農業の重要性を認識していただくと同時に、子供たちに食育の場を提供する役目を担うことができる。今後、本市の経済活性化

を図るため、第一産業と観光を結びつけた対策が有効であると考え、それを踏まえた上で、本市における緊急的・長期的経済対策、雇用対策について伺う。

地場産品を活用した伊東ブランドの普及や、耕作放棄地を市民農園として活用することで第一次産業との連携等を積極的に進めていく市長

誘客を図る上で、第一次産業と観光業が連携することとは、有効的な手段の一つであると認識しており、あいら伊豆農協、伊東市漁協等との協働により、地場産品を活用した「イチジクジヤム」や「ちんちん揚げ」など、伊東ブランドとして普及を図っている。

さらに、農作物をみずから栽培したいという人たちに、耕作放棄地を市民農園として活用していただくことで、第一次産業との連携等を積極的に進めていく。また、雇用対策については、国の動向を注視しつつ、



地場産品を活用した伊東ブランドの普及

第一次産業との連携を図りながら、本市の実情に即した経済対策を実施する中で、雇用の促進につなげたいと考えている。

宇佐美御石ヶ沢への産業廃棄物処分場計画に関する覚書について伺う



日本共産党 佐藤美音 議員

宇佐美御石ヶ沢への産業廃棄物処分場計画については、近接する留田町や宇佐美区から建設反対の意思表示がされたが、本年一月に地元町内と業者の間で産

業廃棄物処分場建設受け入れに係る覚書の内容等が公表された。

地域住民は産業廃棄物処分場に危険性を感じており、大半の住民に何の説明もないままの覚書で、住民は驚き、疑問も抱いている。

また、日本弁護士連合会は、安定型産業廃棄物処分場は危険であるとして、国に廃止を求めており、さらに、予定地は、国指定江戸城築城石丁場史跡の候補地でもある。

環境という財産を汚染させないで将来へ手渡すためにも、本建設計画に対する市長の考えを伺う。

今後の動向について、県と協議する中で注視していく

市長

現在、市としては、新聞報道された地元町内会との建設同意の覚書について、正式には承知していないところであり、この問題については、許認可は、県の権限となっており、県としても状況は把握していないと



産業廃棄物処分場のイメージ

伺っている。
しかしながら、本市の環境や土地利用に関係する事項であることから、今後の動向について、県と協議する中で注視していく。

『その他の質問項目』

■市民の命を守るセーフティネットについて、生活困窮者を救済するきめ細かい対策が必要であると考えているが、対応について伺う

■台風二二号で大きな被害を受けた宇佐美大丸山に「治山と景観づくり」として植林が行われたが、今後この事業をどのように生かしていくのか伺う

◆議員調査活動の実績◆

平成21年4月以降の議会閉会中における、議員調査活動の内容を掲載します。

視察議員	年月日	視察先	視察項目
井戸清司 (清峰クラブ)	21.11.9 ～ 21.11.13	滋賀県大津市 全国市町村 国際文化研究所	市町村議会議員特別研修 (社会保障・社会福祉コース)
佐藤美音 大島春子 重岡秀子 (日本共産党)	21.11.4 ～ 21.11.6	香川県高松市	県立白鳥病院の新病院建設に関する病院構想
		徳島県上勝町	木質バイオマス ごみの34分別 彩事業
		高知県高知市	高知医療センターPFI方式採用とその後の経過
宮崎雅薫 土屋進 西島彰 久保谷廠司 (正風・興志会)	21.11.4 ～ 21.11.6	沖縄県那覇市	証明書の自動交付システム
			那覇市リサイクルプラザ
		沖縄県糸満市	沖縄県平和祈念資料館
			糸満漁港ふれあい公園の運営
佐々木清司彦 井戸本元彦 (清峰クラブ)	21.10.27 ～ 21.10.29	北海道伊達市	伊達ウェルシーランド構想
		北海道室蘭市	市立室蘭総合病院
		北海道登別市	全国大学政策フォーラムin登別
伊東良平 鈴木克弘 浅田良直 竹田昭勇 横沢和彦 四宮和彦 (民主党・刷新の会)	21.10.26 ～ 21.10.28	鹿児島県奄美市	「癒しの観光」を核にした観光施策
		鹿児島県鹿児島市	かごしま環境未来館活用事業
稲葉正仁 三枝誠次 (輝21)	21.7.30 ～ 21.8.1	沖縄県宮古市	東京農大宮古亜熱帯研究センター 宮古島市議会、市経済部農政課個人農業施設
佐々木清 (清峰クラブ)	21.5.13	東京都千代田区 星陵会館ホール	介護1000万人の輪主催「介護保険の未来を語る!! 政党代表との政策討論会」



常任委員会だより

～常任委員会審査の中から～

- ◆詳細は、市議会会議録の委員会審査報告をごらんください。
- ◆市議会会議録は、市役所、図書館、各コミュニティセンターにあるほか、ホームページでもごらんになれます。

総務委員会

問

ごみ袋に関し、市民からは小袋を要望する声があり、これにこたえるための改善がされるべきと考えるが、検討されているか。

答

最小サイズである20ℓのごみ袋の販売枚数が減少している状況から、その推移を注視しながら小袋の販売について検討していきたい。

問

街路樹の落ち葉の清掃を個々にボランティアで実施し、かつ、個人負担の有料ごみ袋に入れて排出している現状を踏まえ、市で積極的に協力体制をとっていくべきと考えるが、いかがか。

答

ボランティア活動による清掃に伴い出たごみは、町内会や商店街等の団体から申請を受けた場合、ごみ袋を支給するとともに、集めたごみを市が収集するなどサポート体制をとっている。



落ち葉の清掃

観光建設委員会

問

伊東温泉家族暖らん誘客事業について伺う。

答

伊東温泉旅館ホテル協同組合に加盟している宿泊施設において、来年1月15日から3月15日までの期間、大人2名の宿泊に対し、同伴の小学生以下の子供1人分の料金を無料とする企画である。



ネットエージェントとタイアップしたPR

問

石綿管、老朽管、鉛管のそれぞれの改修状況を伺う。

答

石綿管は、統合した2カ所の民間分譲地内に約1,800m、老朽管は、法定の耐用年数である40年を超える管が、約53km残っている。

鉛管は、個人の敷地内のメーター周りで3,748件、道路内の本管で536件が確認され、メーター周りについては、20年度までに679件が改修済みである。

福祉文教委員会

問

新型インフルエンザの予防接種について、集団接種を実施しない理由を伺う。

答

ワクチンの有効利用、感染防止、医師の負担軽減という観点からも、集団接種の利点は非常に高いと認識しているが、本市においては集団接種を実施するだけの十分なワクチンが確保されていないことから、医師会長と協議する中で、実施は難しいとの判断をした。

問

放課後児童クラブと放課後子ども教室について伺う。

答

放課後児童クラブは、授業終了後に保護者不在のため、教育あるいは保育に欠ける児童を対象として活動の場を提供するものであり、放課後子ども教室は、すべての子供を対象として、体験活動や活動交流等を推進するもので、相互に連携を図っていく。



放課後子ども教室の様子

特別委員会中間報告

議会閉会中の委員会活動状況を報告します。



医療問題特別委員会

一月一日及び一九日に委員会を開催し、新病院の実施設計に関する中間報告、指定管理者選定に関する経過報告、資金計画の三点の報告を受け、これを踏まえ論議が行われた。

実施設計に関する報告としては、病院の担当者等とのヒアリングを通じて出された配置変更及び利用者の利便性を考慮した改善箇所

の説明がされるとともに、今後の予定が報告された。この報告に対し、伊豆東海岸の基幹病院であること

された。

次に、指定管理者選定に

関しては、七回に及ぶ指定

管理者選定委員会における

協議の内容、社団法人地域

市立伊東市民病院の指定管理者が決定

今定例会に、市立伊東市民病院の指定管理者を指定する議案が提出された。

本議案は、平成二五年四月の開院をめどに準備が進められている新市民病院建設にあわせ、指定管理者選定委員会の審議を経て、

「伊東市公の施設に係る指定管理者の指定の手続等に関する条例」第五条第一項

の規定に基づき、特例により、平成二三年四月一日から新病院開設後三〇年間、

社団法人地域医療振興協会を指定するものである。

長時間に及ぶ論議の末
可決された

※詳しい論議の内容は、2月中旬公開予定の市議会会議録をご参照ください。

佐藤一夫議員が
急 逝

佐藤一夫議員が一月四日に急逝されました。

佐藤議員の多大なるご功績をしのび、心からご冥福をお祈り申し上げます。

市議 4 期 49 歳
故 佐藤一夫議員

編集後記

平成二二年の新春を迎え、市民の皆様におかれましては、心新たに日々をお過ごしのことと存じます。

経済不況と昨年一二月の群発地震の影響で、本市の経済も非常に厳しい状況が続いております。

市議会としても、三月議会で予算審議等、論議を深めていきたいと思ひます。ぜひ市議会だよりへのご意見もお寄せください。

(委員長)

3月定例会の予定

(いずれも午前十時から始まりです。)

2月	25・26日	本会議 (施政方針・議案説明)
	4・5日	本会議 (代表質問)
	8・9日	本会議 (一般質問・議案審議)
3月	10~12日	本会議 (議案審議)
	15・16日	常任観光建設委員会 常任福祉文教委員会
	17・18日	常任総務委員会
	25日	本会議 (最終日)

※ 2月中旬の議会運営委員会において正式に決定します。

議会報編集委員会

委員長 重岡 秀子
副委員長 稲葉富士憲
委員 西島 彰
" 四宮 和彦
" 榎本 元彦
" 楠田 一男

市議会に関するご意見

ご質問は議会事務局へ

伊東市大原二丁目一番一号

TEL (三三) 一九八一

FAX (三八) 六九一六

次回三月定例会は

二月二五日開会予定です